

00862.001426.1



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:)	
	:	Examiner: G. Desire
TERUYOSHI WASHIZAWA)	
	:	Group Art Unit: 2625
Application No.: 09/312,841)	
	:	Confirmation No. 3111
Filed: May 17, 1999)	
	:	
For: IMAGE PROCESSING)	
APPARATUS AND METHOD	:	March 17, 2005

Mail Stop Issue Fee
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

RECEIVED
MAR 24 2005
Technology Center 2600

LETTER SUBMITTING DOCUMENTS FOR PLACEMENT IN FILE

Sir:

Applicants respectfully request that this letter and the enclosed documents be placed in the application file.

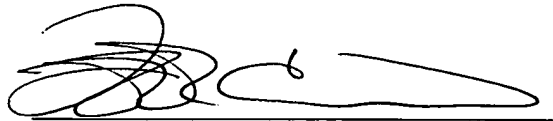
The below-listed documents were cited during prosecution of a Japanese application corresponding to the subject application. Copies of the Japanese Office Action and the following documents, together with an English-language abstract for each, are enclosed.

JP 5-276498
JP 6-197325
JP 7-66980

No action other than placement in the file is requested.

Applicant's undersigned attorney may be reached in our Costa Mesa, CA office at (714) 540-8700. All correspondence should continue to be directed to our address listed below.

Respectfully submitted,

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Frank L. Cire', written over a horizontal line.

Attorney for Applicant
Frank L. Cire
Registration No. 42,419

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO
30 Rockefeller Plaza
New York, New York 10112-2200
Facsimile: (212) 218-2200

CA_MAIN 93254v1

拒絶理由通知書



特許出願の番号	平成 7 年 特許願 第 0 7 6 5 1 0 号
起案日	平成 1 7 年 2 月 1 7 日
特許庁審査官	古川 哲也 3 3 5 1 5 P 0 0
特許出願人代理人	大塚 康德 (外 1 名) 様
適用条文	第 3 6 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

RECEIVED

MAR 24 2005

Technology Center 2600

理 由

A. この出願は、明細書及び図面の記載が下記の点で、特許法第 3 6 条第 4 項又は第 5 項に規定する要件を満たしていない。

記

本願の特許請求の範囲の記載からだけでは、請求項 1 - 1 2 に記載された事項を当業者が正確に理解できない。また、本願の明細書及び図面は、当業者が請求項 1、8 に係る発明を実施することができる程度に明確かつ十分に記載されていない。例えば、以下の点。

(1) 請求項 1、8 に記載の「多重解像度空間」が、どのように定義された空間であるのか技術的に不明であるし、「多重解像度表現」が、如何なるものを意味するのかも不明である。

また、そのために、「多重解像度表現の強度」及び「多重解像度表現における前記特異点の位置座標」が如何なるものを意味するのかが不明であるし、どのように「多重解像度表現を符号化」するのかも不明である。

(2) 請求項 1、8 に記載の「特異点を含む部分領域内における前記多重解像度表現の強度の空間的配置によって形成される局所パターン」という記載自体意味不明である。

また、如何にして「局所パターンを、複数の大きさの部分領域について抽出する」のかも技術的に不明である。

(3) 請求項 1、8 の記載からだけでは、如何にして「局所パターンを基に量子

化のコードブックを作成」するのが技術的に不明である。

(4) 請求項2、9の記載からだけでは、如何にして「カウント結果」を基に、「前記コードブックを作成する」のが技術的に不明である。



(5) 請求項3、10に記載の「代表ベクトル」が、如何なるものを意味するのかが技術的に不明であるし、「二つの代表ベクトル間の包含関係」とは、二つの代表ベクトルがどのような状態にあることを意味するのかも不明である。

また、「構造化」が、如何なる処理を意味するのかも技術的に不明である。

(6) 請求項4、11に記載の「二つの代表ベクトル間の奥行き」が、如何なるものを意味するのかが技術的に不明である。(2次元の入力画像において、「奥行き」とはどのようなものを意味するのか不明である。)

また、如何にして「適合度あるいは量子化誤差を基に、前記符号データに含まれる任意の二つの代表ベクトル間の奥行きに関する順序を決定」するのも不明である。

(7) 請求項5に記載の「前記決定手段における局所パターンの比較」が、請求項5が引用する請求項4の何れの事項を指すのかが不明である。

また、どのように「局所パターンの比較を応用して、部分画像から画像データを検索する」のかも技術的に不明である。

(8) 請求項6、12に記載の「それら複数の代表ベクトルの奥行きに関する順序情報」が、何れのものを指すのかが不明である。

また、「特異点の位置座標と、それら複数の代表ベクトルの奥行きに関する順序情報」に基づいて、どのように「複数の局所パターンを合成する」のかも技術的に不明である。

(9) 明細書及び図面の記載からだけでは、図2に記載された各構成の処理が明確に理解できない。(例えば、「特異点」が、どのように「変換器103」で用いられているかが不明である。明細書(特に、【実施例】)及び図面の記載を基に、処理の概要を意見書等にて説明されたい。)

また、「代数符号」が、どのような符号を意味するのか明確でない。(BCH符号、RS符号などの代数的符号のことか。)

先行技術文献調査結果の記録

整理番号:2815019

発送番号:063588

発送日:平成17年 2月25日

3/E

H04N1/41-1/419

・先行技術文献

特開平6-197325号公報

特開平7-066980号公報

特開平5-276498号公報



この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部映像機器 石川 亮

TEL. 03 (3581) 1101 内線3581

FAX. 03 (3501) 0715